

標準施工要領書

ビッグサン複合防水工法

GRG工法

日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)Bタイプ適合
厚生省令第15号及び厚生労働省令第5号浸出試験適合



独創の技術が明日を拓く

大日化成株式会社

本社
東京支店
岡山工場

〒571-0030 大阪府門真市末広町8-13
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
〒709-4312 岡山県勝田郡勝央町黒土115-1

目 次

1	適用範囲.....	1
2	使用材料.....	1
3	使用工具.....	1
4	防水層の断面図と工程表.....	1~2
5	施工法.....	2~3
6	使用上の注意事項.....	3
7	取り扱い注意事項.....	4~5

1 適用範囲

ビッグサン複合防水のGRG工法で標準下地に施工する場合について適用する。標準下地とは、日本建築学会ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）「2節 防水下地の基本要件」に示された下地（金ごて仕上げ）を基本とする。これ以外の場合は、別途の下地処理方法を参照する。

2 使用材料

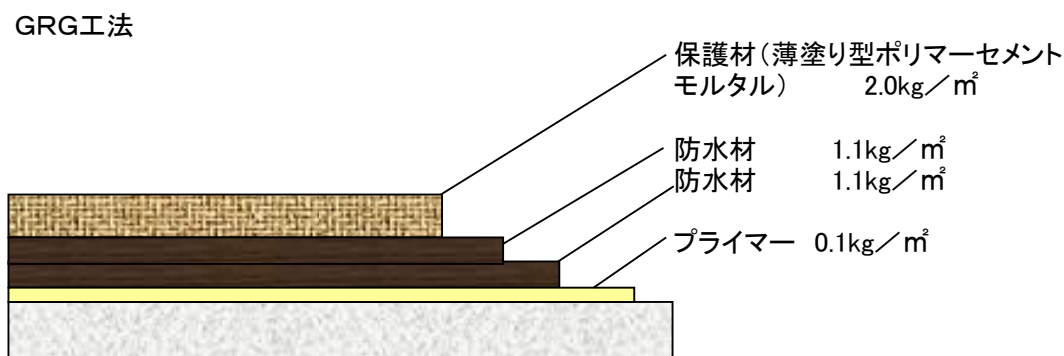
品 質	適 用	荷 姿
ビッグサンPTC	プライマー	2.5kg缶×2缶入り
		18kg缶入り
ビッグサンコート SC-300	防水材	18kg缶入り
ビッグサンパウダー R-300		18kg袋入り
ビッグサンコート SC-400	保護材	8kg缶入り
ビッグサンパウダー G-400		17kg袋入り

3 使用工具

区 分	用 具・機 具	用 途	適 用 機 種
清 掃 ・ 塗 布 用 具	ホウキ、チリトリ	清 掃	回転数 1,100~1,500RPM
	皮スキ、カッター、ケレン ゴムベラ	” かき出し用	
	電動攪拌機	材料攪拌	
	左官コテ	塗布用	
	ローラーバケ	”	
	小バケ、ラスターバケ ポリ容器、ペール缶	” 材料混合用	
そ の 他 用 具	コードリール	電動機接続用	20kg計量できるもの
	はかり	計量	

4 防水層の断面図と工程表

4.1 断面図と塗布量



4.2 工程

プライマー 0.1kg/m ² 配合比 P T C原液	⇒	防水材下塗り 1.1kg/m ² 配合比 SC-300 9kg R-300 18kg	⇒	防水材上塗り 1.1kg/m ² 配合比 SC-300 9kg R-300 18kg	⇒	保護材塗り 2.0kg/m ² 配合比 SC-400 4kg G-400 17kg 水 1kg
---	---	---	---	---	---	---

4.3 工程表

工程順	工程名	配合比率	施工量	塗布量	塗布間隔 (hrs)
1	プライマー	P T C原液のまま塗布	2.5kg缶=25m ² 18kg缶=180m ²	0.1kg/m ²	夏 0.5~1.0 春秋 1.5~2.0 冬 2.5~3.0
2	防水材 下塗り	SC-300 9kg R-300 18kg	24.5m ²	1.1kg/m ²	夏 2.0~5.0 春秋 3.0~8.0 冬 4.0~15.0
3	防水材 上塗り	SC-300 9kg R-300 18kg	24.5m ²	1.1kg/m ²	夏 2.0~5.0 春秋 3.0~8.0 冬 4.0~15.0
4	保護材 (薄塗り型ポリマーセメントモルタル)	SC-400 4kg G-400 17kg 水 1kg	11m ²	2.0kg/m ²	

- ◎施工完了後は原則として2週間硬化養生を行ってから使用して下さい。
- ◎飲料水用途で使用する場合は硬化養生後、更にアク抜き処理 (注水2週間) を必ず行ってください。

5 施工法

5.1 清掃

ホウキ、ハケ等により防水施工面のゴミ、チリ等を除去し、コンクリート、またはモルタルの表面に汚れやレイトンスがある場合は、サンダーなどで除去する。また、水たまりがある場合は、ウエス、スポンジ等により除去し、乾燥させる。

5.2 プライマー

a) 混練方法

ビッグサンP T Cは、原液のまま塗布する。

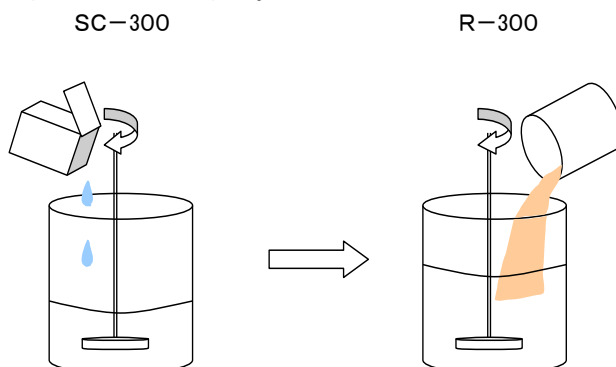
b) 塗布方法

ローラー、左官バケ等で下地にすりこむように均一に塗布する。

5.3 防水材 下塗り、上塗り

a) 混練方法

- ① S C - 3 0 0 (9kg) をバケツ等の容器で攪拌する。
- ② R - 3 0 0 (18kg) を少しずつ添加しながらダマができないように攪拌する。



b) 塗布方法

プライマー乾燥後に 混練した材料を左官ゴテ等で、塗工面に均一に塗布する

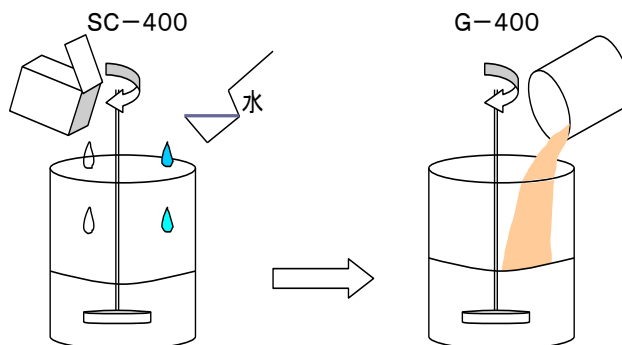
c) 防水材上塗り

防水材下塗り乾燥後に 下塗りと同様に、混練した材料を左官ゴテ等で、塗工面に均一に塗布する

5.4 保護材塗り

a) 混練方法

- ① SC-400 (4kg)と水道水(1kg)をバケツ等の容器で攪拌する。
- ② G-400 (17kg)を少しずつ添加しながらダマができないように攪拌する。



b) 塗布方法

防水材上塗り乾燥後に 混練した材料を左官ゴテ等で、塗工面に均一に塗布する

■注意事項■

- ◎新しく材料を配合、混練する際には使い残しの材料を混合しない。
- ◎一度に基準塗布量以上の厚塗りはさける。
- ◎防水層の固化状態は、塗膜の色が灰褐色になり、指で押さえても指紋がつかなければ良い。
- ◎混練した材料は、90分（20℃）以内に使用する。

6 使用上の注意事項

- ◎ 降雨時、降雪時及び施工後降雨の恐れがある場合は、施工をさける。
- ◎ 冬期及び寒冷地で施工する場合は、5℃以上の暖かい日中に施工し乾燥、固化時間をとる事。低温で施工した場合は白華することがある。
- ◎ 防水層の塗布量については以下の通りする。
水材の使用量は以下の式により換算する。

$$W = G \times T \times 100 / C$$

W：使用量

G：硬化塗膜比重

T：平均厚み（硬化後）（mm）※防水材単独の厚み。PB-1仕様の場合1.1mm。

C：全固形分（%）

7 取扱い注意事項

商品名	注 意 事 項
ビッグサンSC-300 ビッグサンSC-400 ビッグサンPTC	◎ 作業時は、眼や皮膚に付着しないよう、必要に応じて保護メガネ、保護手袋などの保護具を着用。作業後は顔、手などを洗う。
ビッグサンパウダーR-300 ビッグサンパウダーG-400	◎ 作業時は、粉塵が眼や呼吸器に入らないよう、必要に応じて保護メガネ、防塵マスク、保護手袋などの保護具を着用。作業後は顔、手などを洗う。
SC-300とR-300 の混合物	◎ 作業時は、混合物が眼や呼吸器に入らないよう、必要に応じて保護メガネ、保護手袋など保護具を着用。作業後は顔、手などを洗う。
SC-400とG-400 の混合物	◎ 保護具、作業服等に付着した調合後の材料での汚れは、乾燥し固化すると除去し難くなるので、早めに水洗いを行う。

【貯蔵・保管】

ビッグサンSC-300 ビッグサンSC-400 ビッグサンPTC	◎ 直射日光を避け、5～40℃の風通しの良い屋内で保管する。 ◎ 保管は密封状態で行い、開封後は全量使用する。
ビッグサンパウダーR-300 ビッグサンパウダーG-400	◎ 雨露を避け、風通しの良い、湿気の少ない屋内で保管する。 ◎ 水濡れの危険のある床面は、直置きを避けパレット等架台を敷く。

【火災時の措置】

商品名	注 意 事 項
ビッグサンSC-300 ビッグサンSC-400 ビッグサンPTC	◎ 引火性や自己発火性はないが、乾燥固化すると着火、燃焼する。消火方法は散水による。
ビッグサンパウダーR-300 ビッグサンパウダーG-400	◎ 引火性、発火性ともなく、非燃焼物である。よって措置は不要。
SC-300とR-300 の混合物 SC-400とG-400 の混合物	◎ 引火性や自己発火性はないが、乾燥固化物になると着火、燃焼する。消火方法は散水による。

【漏出時の措置】

商品名	注 意 事 項
ビッグサンSC-300 ビッグサンSC-400 ビッグサンPTC	◎ 布など吸収性のある物で拭き取る。土、セメントなど吸収性のある粉体で覆い固化させる。河川等への流出を防ぎながら乾燥による固化を待つ。
ビッグサンパウダーR-300 ビッグサンパウダーG-400	◎ 粉塵化し易いので、集塵機で吸い取るか、水を撒き固化させる。
SC-300とR-300 の混合物 SC-400とG-400 の混合物	◎ 紙、布など吸収性のある物で拭き取る。土、セメントなど吸収性のある粉体で覆い固化させる。河川などへの流出を防ぎながら乾燥による固化を待つ。

【関連法規】

商品名	消防法	労働安全衛生法		毒物及び劇物取締法
	危険物	有機溶剤	表示物質	毒劇物
ビッグサンSC-300 ビッグサンSC-400 ビッグサンPTC	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない
ビッグサンパウダーR-300 ビッグサンパウダーG-400	〃	〃	〃	〃

【応急処置】

ビッグサンSC-300 ビッグサンSC-400 ビッグサンPTC	◎ 目に入った場合：清水で洗う、刺激が残った場合は医師の診断を受ける。 ◎ 皮膚に付着した場合：清水で洗う、刺激が残った場合は医師の診断を受ける。 ◎ 吸入した場合：清水による“うがい”などで咽喉部を洗う。異常が残った場合は医師の診断を受ける。 ◎ 飲み込んだ場合：清水による“うがい”などで咽喉部を洗った上で、医師の診断を受ける。
ビッグサンパウダーR-300 ビッグサンパウダーG-400	◎ 目に入った場合：擦らないようにして清水で洗う、刺激、痛みが残った場合は医師の診断を受ける。
ビッグサンSC-300 ビッグサン R-300 の混合物	◎ 皮膚に付着した場合：清水で洗う、刺激が残った場合は医師の診断を受ける。 ◎ 吸入した場合：清水による“うがい”などで咽喉部を洗う。異常が残った場合は医師の診断を受ける。
ビッグサンSC-400 ビッグサン G-400 の混合物	◎ 飲み込んだ場合：清水による“うがい”などで咽喉部を洗った上で、医師の診断を受ける。

【廃棄方法】

◎廃棄するときは、産業廃棄物として処理する事。